

安全な道路環境をめざして—15—
SAFETY FOCUS

和歌山県「花山西」交差点

歩行者や自転車利用者が安心して横断しにくい交差点

「SAFETY FOCUS」は、Honda が公開している「SAFETY MAP」に示される交通上の危険が潜むスポットに足を運び、現場の交通環境と事故防止について考察する連載記事です。

「SAFETY MAP」には「みんなの意見」として一般投稿された危険スポット情報が地図上に表示されている。今回「FOCUS エリア」(下記参照)に取り上げるのは、和歌山県内で3人の方が「みんなの意見」を投稿している「花山西」交差点だ。ここでは、スピードが出ているクルマが多いなどの投稿が寄せられている。また、この場所では、平成27年中に交通事故が32件(うち人身事故2件)発生している。

●この地点で発生した事故件数(人身+物損)

四輪車対四輪車	右折直進	1件
	追突	16件
	その他	3件
四輪車対二輪車	左折時	1件
	その他	1件
四輪車対自転車	右折時	2件
	左折時	1件
車両単独		2件
その他		5件

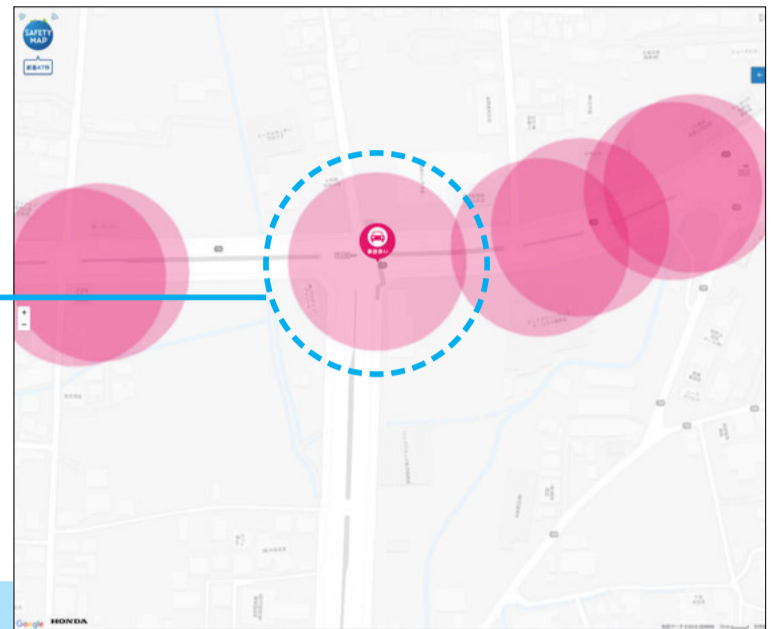
※平成27年中 和歌山県警察提供

また、この場所では、平成27年中に交通事故が32件(うち人身事故2件)発生している。

●「SAFETY MAP」みんなの意見

スピードが出ているクルマが多い	2人
歩行者/自転車の飛出しが多い	0人
赤信号無視のクルマが多い	1人

※平成28年7月31日時点



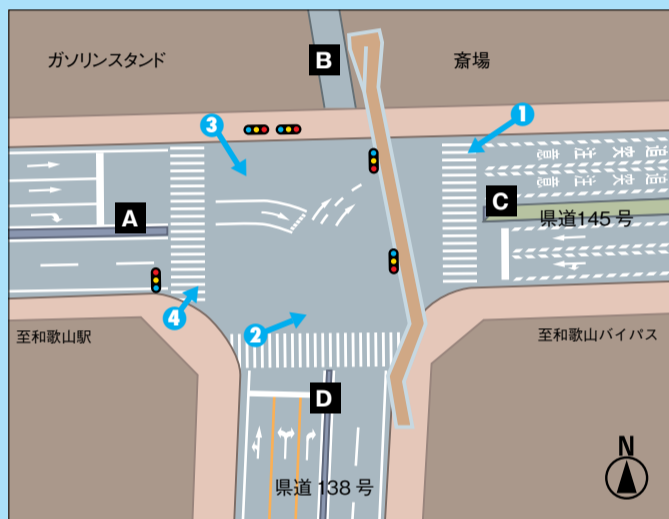
現場をたずねる

FOCUS エリア
和歌山県和歌山市鳴神「花山西」交差点

今回訪れた「花山西」交差点はJR和歌山駅から東へ1.5kmの場所にあり、市内を東西に抜ける和歌山バイパスに接続する県道145号と県道138号とが交わっている。北側に生活道路が接続しているが、交通量は少ないため実質的には三叉路になっている。

現場を訪れた平日朝7時の県道145号は、1つ東の交差点から和歌山バイパス(国道24号)に接続するためA→Cの交通量が非常に多い。朝の通勤ラッシュ時は1つ東の交差点から続く渋滞が「花山西」交差点内までつながることもしばしば。そのため、速度超過気味に交差点に進入し、急減速するクルマが散見された。D県道138号からのクルマの多くは和歌山バイパス方面に向かっており、赤信号時は交差点に向かって長い車列ができていた。バイクも比較的多く走行していたが、クルマの量が多いためか危険な運転をする様子は見られなかった。また、Bは生活道路で観察中に出入りするクルマは数台程度だった。

交差点付近を通行する自転車利用者の多くは和歌山駅方面に走行していた。歩行者の姿はまばらだった。D→A、C→Dにそれぞれ左折するクルマの様子を観察していたところ、左折時に左後方の巻き込みを目視で確認しないドライバーが少なかった。



右折の矢印信号が点灯してから、交差点を直進・左折するクルマが多く見られた



Aでは交差点をショートカットして右折するクルマが目立った



D→Aへ左折する際、クルマがバイクを巻き込みそうになった



Dからの右折車両は自転車利用者が横断歩道を通行中でも勢いよく交差点に進入。歩行者や自転車が止まらずに横断できるタイミングは、事実上青信号に変わった直後だけ

ドライバーは歩行者優先を意識すべき

歩行者や自転車利用者が安心して横断歩道を渡れるのは、信号が青になった直後のみ。一度クルマが通行し始めると、クルマが横断歩道手前で一時停止する場面はなかなか見られなかった。

交差点を左折するドライバーの対応は2つのパターンに分かれる。1つは、あらかじめ歩行者・自転車利用者の通行を予測し、減速しながら歩道側を目視で確認して左折する場合。もう1つは特に目視もせず、最低限の減速で左折していく場合だ。中には、和歌山駅方面から横断している歩行者の姿があっても、渡りきるまでに時間があると感じたのか、減速もせずスピードを出して左折するクルマも散見された。

横断歩道は歩行者優先が大原則だ。歩行者の姿が少ないからといって、自己中心的な運転は厳に慎んでほしい。



写真上/歩行者が横断歩道を通行中、Cからのクルマが断続的に通過。歩行者はクルマが止まるまで横断歩道上で待たざるを得なかった

写真下/横断歩道手前で左折する車両を追い抜き、車道の中央を走行する自転車

ドライバーの死角をつくり出さない環境を

C→Dの左折時、歩道橋の橋脚で死角が生まれ、ドライバーから歩行者や自転車利用者を目視で確認しづらいように見えた。橋脚は歩道の中央に位置している。車道寄りを通る自転車や歩行者はドライバーが確認しやすい。一方、店舗寄りを通る自転車や歩行者は橋脚に隠れてしまう瞬間があるのでドライバーが見落としやすくなると思われた。

自転車や歩行者が橋脚に隠れないような動線に導くために、Dの横断歩道を交差点の内側に移動させるなど橋脚下を通らないような、ドライバーの死角をつくり出さないための環境づくりが望まれる。



自転車が橋脚の影に隠れてしまうと、左折するドライバーが存在を見落としやすくなると思われた

「SAFETY MAP」のご活用・ご参加をお願いします!



ホンダ セーフティマップ

検索

<http://www.honda.co.jp/safetymap/>

「SAFETY MAP」は「みんなで作る安全マップ」です。Hondaのインターナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と、交通事故情報、そして皆さんの声で地図はつくられます。お手持ちのPC・スマートフォンからアクセスできますので、あなたの周囲に危険と感じることのある場所があったら、情報を投稿してください。